

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2026.02.No342

2月号

## 目次

実行委員会報告 新年の活動方針等について	1
建築士試験分析	4
西から東から「網走のまち」	6
Coffee Break	7
information	8

URL <https://www.h-ab.com/>

## 実行委員会報告

# 新年の活動方針等について

### 総務・企画委員会 組織づくりと環境づくり

委員長  
亀田 誠 (日高支部)



このたび、総務・企画委員長を拝命いたしました日高支部の亀田です。歴史ある本会の基盤づくりに携わる重責を担うにあたり、身の引き締まる思いであります。まずは、これまで当委員会の運営を支えてこられた諸先輩方に深く敬意を表し、今

後もご指導とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

近年、会員の高齢化、若手・新規登録者の入会減少、地域支部間の活動格差、会員メリットの不明確化が進み、会員数の減少傾向が続いています。また、建築業界全体でも少子高齢化、デジタル化、働き方の多様化が進み、従来の「士会＝専門団体」という枠組みだけでは、若手建築士や学生にとって入会動機が見出しにくい現状があります。

こうした課題に向き合い、北海道

の特色を生かしつつも、地域社会に貢献しながら学び、つながり、発信できる魅力ある士会像を目指し、「入会して終わり」ではなく、「所属することに“価値がある”会」へ。そのためには、誰かがしてくれると待っているだけではなく、会員全員の知恵と行動が必要です。

会員がより誇りをもって活動できる組織づくり、環境づくりに当委員会として微力ながら尽力してまいりたいと思いますので、引き続き皆さまのご支援をお願い申し上げます。

### 事業委員会 新規講習会等活動へ

委員長  
林 昌宏 (小樽支部)



この度、二期目の委員長を務めさせていただきます。小樽支部の林です。引き続き宜しくお願い致します。

今期委員は、新任2名継続4名で進めます。

昨年度、当委員会の開催した所管事業は「既存住宅状況調査技術者講

習」「その他講習会3事業」でした。

更に令和8年は、札幌支部事業委員会と本部事業委員会共催で建築士受験者講習会を予定します。札幌支部事業委員会が今まで行ってきた対面講習会にWEB講習会(ライブ配信)を同時に行う講習会の予定です。令和9年はすべてをWEB講習会(オンデマンド型)化に向けてリニューアルする準備の1年になります。昨年の対面講習会も合格者も多数出ており、とても貴重な講習会となっておりますので、多数の参加をお願い致します。

(講習会開催の拡散お願い致します)

また「既存住宅状況調査技術者講習」も開催し、昨年同様継続して行う講習会も有ります。多くの会員様が受講できるよう、時期や場所を検討して参りますので是非とも多くの方の受講をよろしくお願い致します。

新規講習会やセミナーや研修会等開催したい方がありましたら事業委員会に相談頂ければお手伝い出来る事も有りますので気軽にお声掛け下さい。

本年度も宜しくお願い致します。

### 情報委員会 情報委員会、新たな2年間のスタート

委員長  
前田 繁 (釧路支部)



今年度より、前期に引き続き情報委員長を仰せつかりました前田繁です。これまでの経験を糧に、歴代委員長が築かれた足跡を大切にしながら、次世代へつなぐべき役割をしっかりと果たしていく所存です。今期

1月号よりNEWS LETTERによる案内をさせて頂いておりますが、会誌・北海道建築士WEBで始動致しました。賛否両論はあるかと思いますが、今期も新メンバーと共に、会員の皆様が求める情報をより敏感に捉え、効果的な誌面づくりに努めてまいります。皆様からの投稿やご意見、ご要望を心よりお待ちしております。さて、今年度の全道大会も号外の発行ではなく、新たな試みである「動画配信」を予定しております。

映像ならではの臨場感で大会の様子をお届けできるよう準備を進めておりますので、ぜひご期待ください。

また、情報委員会メンバーによる直接取材企画「西から東から」も継続してまいります。これから2年間、メンバー一丸となって、より良い「北海道建築士」をお手元にお届けします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## まちづくり委員会

「まちづくり」と  
「ひとつづくり」

委員長

永井 雅規 (札幌支部)



今期より委員長を務めさせていただきます札幌支部の永井と申します。何卒よろしくお願いたします。

さて、私が建築士会の活動に関わり始めたのは2019年に函館で開催された全国大会の頃からでした。それからまちづくり委員として北海道内はもちろん全国で多くの諸先輩方か

ら建築士とまちづくりの関り方について学ばせていただきました。

まちづくり委員会では、毎年春に開催している「北海道まちづくり会議」をはじめとしてフォーラムなど皆様とまちづくりについて考える様々な機会があります。

それらを企画するにあたり、私は、これまで松本前委員長が力を入れてこられた交流によるまちづくりをしっかりと受け継ぎ、深化させていくため「まちづくり」に加えて「ひとつづくり」を意識したいと思います。

これまでの拙い経験を振り返ると

まちづくりを持続可能にする原動力は「人」による担い手づくりなのだと思います。ですから、建築士会の活動を通じて出会う人々の交流から生まれる共感、そこからの協力、そして共創に至るまで、強力な委員会のメンバーに支えていただきつつ、皆様と分かち合えることを目指して「まちづくり」と「ひとつづくり」の両輪で取り組んで参りますのでご協力のほどよろしくお願いたします。

## 青年委員会

青年委員長就任に  
あたって

委員長

加藤 寛基 (釧路支部)



今期より北海道建築士会青年委員長を拝命いたしました、釧路支部の加藤寛基と申します。

昨年の法規改正や止まることのない物価上昇など、先行き不透明で厳しい社会情勢の中での任期となり、身が引き締まる思いです。

現在、我々を取り巻く環境は、人口減少を背景とした業界構造の変化に加え、BIMやAIに代表されるデジタル化の推進、働き方の多様化など、課題は多岐にわたっています。特に、業界全体の高齢化が進む中で青年層が減少し、職域を超えたつながりのみならず、同世代の仲間同士が課題や経験を共有する機会も失われつつあります。

建築士会は、設計・施工・行政など多様な職種の会員が所属し、職域を超えた交流を通じて実践的なスキ

ルアップや地域を越えた情報交換が可能な組織ですが、先の現状ではその強みを十分に活かしきれていない場面も見受けられます。

このような状況を踏まえ、同世代がつながり、交流を通じて学び合う場を創出することが重要であると考えています。二年間の任期を通じ、委員の皆さまとともに企画し、議論を重ねながら実践し、本会の活動の充実に努めてまいります。

どうぞよろしくお願いたします。

## 女性委員会

未来へつなぐ想い

委員長

新海 直美 (札幌支部)



このたび女性委員長を拝命いたしました、札幌支部の新海です。入会した頃から女性委員会の活動に関わる中で、歴代委員長や先輩方が積み重ねてこられた取り組みを見てきました。その姿にいつも励まされ、「私には何ができるだろうか」と思いながら、今こうしてバトンを受け取っ

ています。

北海道の建築士として、地域の未来に少しでも役立つ活動を続けていきたいと考えています。女性委員会としては、女性ならではの視点や感性を大切にしながら、さまざまな立場の方に寄り添える存在でありたいと思っています。また、各支部では女性会員が本当に幅広い分野で活躍しており、その力が地域を支えていることを強く感じています。こうした活動を全道だけでなく全国にも発信し、互いに刺激し合える場を広げていくことも今期の大切な役割です。

さらに、より多くの女性が建築士会に参加しやすくなるよう、仲間を増やす取り組みにも力を入れていきたいと考えています。そのために、連合会や各支部とのつながりを深め、気軽に参加できる企画づくりにも取り組んでまいります。不慣れな点もありますが、皆さまのお力をお借りしながら、前向きに進んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

## 災害対応委員会

令和8年度事業計画

委員長

土田 浩貴 (上富良野支部)



日頃より災害対応委員会の活動にご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。前期から引き続き委員長を務めさせていただきます、上富良野支部土田です。どうぞよろしくお願致します。

被災建築物応急危険度判定制度が

大きく変わりました。令和7年10月の認定制度改正により、新規に認定を希望される方は講習会の受講が必要で対面受講またはWeb講習のいずれかを選択できるようになりました。一方、更新対象者の講習受講は免除となり、申請書の提出のみで更新手続きが可能。このことで災害対応委員会でも今までの対面での机上訓練をWeb化の検討準備に入る計画を予定していますが、実現するにあたりまだまだ時間がかかる予定で今後の課題となりそうです。講習を

受講しなくても更新が簡単になったことで期限が切れている方や過去に受講して登録をしてない方は是非この機会に更新や登録をお願い致します。

今年度は道南ブロックで北海道知事認定震災建築物応急危険度判定机上訓練を予定しております。道南ブロックの会員の皆様はじめ近隣のブロックの方々も参加して頂ければありがたいです。

今年度も引き続き災害対応委員会をよろしくお願致します。

## 会員増強特別委員会 委員会のあり方

委員

中原 茂人 (苫小牧支部)



本部の会員増強特別委員会は、本間会長を委員長とし、副会長と統括理事、総務企画、青年、女性の各委員会の委員長によって構成されています。しかし、この二年間は委員会が開催されておらず、会員の皆様には申し訳なく思っています。この委員会の所管事項には、「会員増強に

係る企画及び各ブロック会や関係委員会との連携」とありますが、あまり機能しているとは言えません。会員増強は新会員の増強が中心となりますが、退会者を少しでも減らすためには、既存会員へのフォローや参加動機の再確認、負担感の把握といった取り組みも欠かせません。ところが本部としては入会候補者のリストも無く、退会希望者へのケアも出来ません。結果として両面とも各支部の皆様に頼っているのが現状です。このような状況を踏まえ、この委員会のあり方自体を見直す必要が

あるのではと思います。現在、ブロック会議が年間2回開催され、各支部から様々な活動状況や現状が報告されています。こうした有益な情報をこの委員会が集約、分析し、その上で本部として大まかな方針と仕組みを整備し、各支部の皆様に、地域事情を踏まえた活動を行って頂くことが今後必要ではないかと思えます。会員皆様のご意見をどうぞお願いいたします。

## ハリテージマネージャー特別委員会 ハリマネ修了生 活躍の場を

委員長

杉山 友和 (札幌支部)



ハリテージマネージャー特別委員会委員長の杉山です。皆様にはいつも当委員会の活動にご協力いただきまして、お礼申し上げます。昨年度は、一昨年運営費の関係で実施出来ませんでした「北海道ハリテージマネジメント専門職育成講座」を、講

師及び関係者の皆様のご協力のもと自費開催にて実施することができ、過酷な講座日程のなか、13名の修了生（うち建築士会会員は5名）が誕生いたしました。今年度も講座の開催に向け、昨年度の反省も踏まえつつ講座開催に向け取り組んで参ります。次に、昨年度に引き続き、「歴史的建造物の調査・評価の活動」に力を入れ、歴史的建造物の保存活用に関する方々の一助になれるよう、取り組んで参ります。その際には上記講座修了生の力もお借りする

ことにより、修了生のスキルアップの場を提供出来ればと考えております。最後に、昨年末にも青森東方沖を震源とする大地震があり北海道にも影響がりましたが、「歴史的建造物の被災時における調査体制構築」にも、全道の建築士会会員の皆様のご協力もお願いしつつ具体的な体制構築を目指し、検討を進めて参ります。皆様、本年度も何卒よろしくお願いいたします。

## BIM推進特別委員会

BIMのある日常をつくり、  
特別委員会の収束に向けて

委員長

梅原 博大 (札幌支部)



当委員会で例年開催してきたdoBIMはBIM図面審査に関する昨年12月のセミナーで30回の節目を終え、取り扱うテーマとしては1周しました。これ以上深いテーマは各メンバーさんの講習にお任せし、より会員の皆様に参加しやすい形での活動を充実させることになろうかと思

います。

特に昨年、一昨年開催した「BIM寺子屋」や「ハンズオンセミナー」は一方通行のセミナーとは異なり、参加された方が、“今までやってきた業務のやり方を変えられる”、“これは面白い”、“これからはBIM”だとワクワクしてくれるような機会になったのではないかと思います。このような場を増やしていき、これまでBIMモデルに触れたことの無い方や、使い方をもう1段階上げたい方に向けての情報発信・相互交流の場を設けていきたいと思

これまで主導していただいた委員のみなさまの多くが卒業され、活動に不慣れな状態に戻りますが、新たな委員・オブザーバー相互に勉強し合って、どのような活動をすれば、BIMが、より多くの皆様の日常ツールとなっていくのか意見を出し合い、進めていければと思います。

自ら教え合う場が自走していくことがこの特別委員会の収束ではないかという意見がございます。そのような収束が迎えられることを願っております。

## 地域貢献活動センター委員会

助成金を使った活動を  
募集中です。

委員長

工藤 美智子 (札幌支部)



当委員会は「北海道建築士会地域貢献活動基金」を利用する助成対象事業を選考し、助成金額を決定することを目的に設けられています。

建築士会に1年以上継続在籍している会員（2名以上）がいるグループであれば、会員以外の方との混合

グループでも申請可能です。

助成対象事業は、営利を目的としない「地域貢献・まちづくり活動」で9テーマのいずれかに該当していることが条件です。助成金の限度額は、1件20万円（予算範囲内）です。9テーマの具体的な内容や申請方法などは、道士会HPで公開しています。また、過去の助成事業の紹介も掲載しています。

募集期間は、毎年1月1日から9月30日迄です。申請書・事業計画書・予算書などを提出いただくと審

査開始となります。申請内容によっては、審査に時間がかかることもありますので、余裕を持った申請をお勧めします。

せっかくの基金ですのでどんどん活用し、地域の活性化や住教育、景観保全や防災活動などを通して、仲間の輪も広がっていきましょう。

尚、基金残金が無くなり次第この助成事業は終了となります。

ご不明な点は士会事務局にお問い合わせください。

# 令和7年 一級・二級建築士試験「設計製図の試験」分析

## 令和7年度 1級・2級建築士 設計製図試験全体総評

【試験元公表】 採点結果の区分(成績) ○採点結果については、ランクI、II、III、IVの4段階区分とする。  
 ■ランクI:「知識及び技能」(\*)を有するもの ■ランクII:「知識及び技能」が不足しているもの  
 ■ランクIII:「知識及び技能」が著しく不足しているもの ■ランクIV:設計条件及び要求図書に対する重大な不適合に該当するもの  
 ※「知識及び技能」とは、一級建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総合的な知識及び技能」をいう。

### 1級



	ランクI	ランクII	ランクIII	ランクIV
令和7年度	35.0%	1.6%	53.7%	9.7%
令和6年度	26.6%	1.5%	23.9%	48.0%

令和7年度の1級建築士 設計製図試験の採点結果はランクI:35.0%(昨年 +8.4%)、ランクII:1.6%、ランクIII:53.7%、ランクIV:9.7%となり、ランクIII・IVの合計は63.4%となりました。このように合格者以外のほとんどが「ランクIII:知識技能が著しく不足している」以下という明暗のはっきり分かれた採点結果からは、建築士に求める知識・技能の水準(合格基準)に到達していない答案が多数存在している状況が伺えます。

『受験者の答案の解答状況』では、主にランクIII及びランクIVの該当要因が以下のように記載されていました。  
 ●設計条件に関する基礎的な不適合:「要求 室・施設等の特記事項の不適合」、「高さ制限への適合が確認できる情報の未記載」等

●法令への重大な不適合:「直通階段に至る重複区間の長さ」等

これらの内容から、単に計画として成立しているか否かだけでなく、「法令に適合していることを図面上で説明できているか」が、可否を分ける大きな評価軸となっていることが考えられます。特に本課題では、「高さ制限(道路斜線・隣地斜線)」「直通階段の歩行距離・重複距離」といった、数値と根拠を伴う法令確認事項について、明確な図示・記載が求められました。

また、試験元から発表された「合格基準」を確認すると、今年も採点のポイントと計画の要点の設問がほぼ同じとなり、図面と計画の要点の整合性も評価のポイントであることが伺える試験でした。

	ランクI	ランクII	ランクIII	ランクIV
令和7年度	46.4%	3.5%	25.0%	25.1%
令和6年度	47.0%	4.7%	37.1%	11.1%



### 2級

令和7年度の課題は、敷地面積が小さい課題であったため、建蔽率違反になりやすく、建築面積に注意する必要がありました。また、駐車スペースの要求がなく、令和5年度に出題された吹抜け、令和6年度に出題されたバルコニー前面の空地と避難経路が出題されたことも特徴的でした。加えて、個室とLDK以外は面積の指定や人員構成の明記がなく、出題者の意図を受験生自身で判断しなければなりませんでした。階数については2階建てで、その他も大きなサプライズ要素がなかったとはいえ、エスキスの難度は高かったため、条件を理解してどのようにシンプルにまとめることができたか、時間内にどこまで作図を仕上げる事ができたかが問われた試験でした。

合格実績  
**No.1**

平成28～令和7年度  
1級建築士 学科・設計製図試験  
全国ストレート合格者占有率 **10年間** **59.2%**  
全国ストレート合格者合計14,345名中/当学院受講生8,493名

平成28～令和7年度  
1級建築士 設計製図試験  
全国合格者占有率 **10年間** **52.6%**  
全国合格者合計35,869名中/当学院受講生18,878名

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。 ※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無目的の受験提供者、過去受講生は一切含まれておりません。 ※全国ストレート合格者数 全国合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※学科・製図ストレート合格者とは、1級建築士学科試験に合格し、同年度の1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。(令和7年12月24日現在)



**総合資格学院**

スクールサイト [www.shikaku.co.jp](http://www.shikaku.co.jp) 総合資格 検索  
 コーポレートサイト [www.sogoshikaku.co.jp](http://www.sogoshikaku.co.jp)  
 SNS X ⇒@shikaku\_sogo LINE ⇒[総合資格学院] Instagram ⇒[sogoshikaku\_official]



開講講座

1級・2級 建築士/建築士+木 等工事施工管理技士/設備 構造設計1級建築士/建築設備士/宅建士/賃貸不動産経営管理士/インテリアコーディネーター

法定講習

監理技術者講習/一級・二級・木造建築士定期講習/管理建築士講習/宅建登録講習/宅建登録実務講習/第一種電気工事士定期講習

札幌校

TEL.011-219-3511 札幌市中央区南一条西6-11 札幌北辰ビル4F

今年度の一級・二級建築士設計製図試験において、当会の賛助会員である総合資格学院様と日建学院様に出題状況を分析して頂きました。

会員様の所属する企業・団体や関連する団体等で建築の育成を進めている場合は、この内容をお役立てて頂ければと思います。

## 令和7年度 1級2級建築士設計試験～総評～

### 【試験元 合格基準等について】

- 採点結果については、ランクⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの4段階区分とする。
  - ・ランクⅠ：「知識及び技能」\*を有するもの ・ランクⅡ：「知識及び技能」が不足しているもの
  - ・ランクⅢ：「知識及び技能」が著しく不足しているもの
  - ・ランクⅣ：設計条件及び要求図書に対する重大な不適合に該当するもの
- ※「知識及び技能」とは、一級建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総合的な知識及び技能」をいう。

### 1級建築士

令和7年度1級建築士設計試験についてランクⅣとなった受験者が9.7%、ランクⅢとなった受験者が53.7%と昨年の試験と比較してランクⅢ・Ⅳの合計が8.5%少なくなりその分、合格率がアップしました。受験者の答案の解答状況はランクⅢ及びランクⅣに該当するものが多く、具体的に以下のようなものを挙げる事ができる。

- ・設計条件に関する基礎的な不適合：「要求室・施設等の特記事項の不適合」、「高さ制限への適合が確認できる情報の未記載」等
- ・法令への重大な不適合：「直通階段に至る重複区間の長さ」等

※今後の試験においては、**高さ制限、重複距離、延焼**のおそれのある部分など、**基本的な内容を理解して解答する必要があること、要求されている事項を正しく記載する必要があること**を示しています。

#### 【受験者答案の分析から見えてくる合格基準についての考察】※ランダムに選択した答案 日建学院独自の分析

##### ●エスキス時間（課題文の読み取りからエスキス完成まで）

エスキス完成までの時間	受験者の割合	合格率	サンプル合格率との差
1時間45分以内	11.0%	60.0%	+0.7%
2時間以内	35.6%	68.8%	+9.5%
2時間15分以内	37.8%	17.0%	-41.7%
2時間30分以内	13.3%	33.3%	-26.0%
2時間30分超	2.2%	0%	-59.3%

##### ●事務室の計画について

事務室の計画	受験者の割合	合格率	サンプル合格率との差
室として計画	16.0%	70.0%	+10.7%
スペースとしての計画	83.1%	57.1%	-2.2%

##### ●階地斜線制限の適合について

階地斜線の適合	受験者の割合	合格率	サンプル合格率との差
正しく記入している	50.9%	72.2%	+12.9%
情報等の記入がない	25.4%	26.7%	-32.6%
誤っている	23.7%	35.7%	-23.6%

##### ●大会議室の計画について

大会議室の計画	受験者の割合	合格率	サンプル合格率との差
無柱空間として適切に計画	84.7%	62.0%	+2.7%
室内に柱があり利用に支障あり	15.3%	44.0%	-14.9%

ランダムに選択したサンプル答案の合格率は59.3%でしたので、それを下回る数値の計画には、何らかの問題や減点、もしくは計画における難しさがあつたものと考えられます。合格者と不合格者で差のついた項目をピックアップした分析結果はこのようなになりました。

### 2級建築士

令和7年度2級建築士製図試験について敷地は、2面道路（南側+西側）、東西15m×南北15mと小さめの設定でした。対して、延べ面積は「200m<sup>2</sup>以上、250m<sup>2</sup>以下」と建築物のボリュームが大きい課題でした。2面道路のため、玄関へのアプローチを南側道路からにするか西側道路にするかによって個室の配置等、プランニングの内容が変わります。また、個室の床面積も大きく、室数も多く要求されたため、全ての個室を同じ方向に向けて配置できず、プランニングが難しくかつたと思われます。敷地条件を正確に読み取り、屋外施設等を適切に配置できたか。屋内の計画では要求室の配置・動線計画を適切に計画できたか。各要求室の特記事項をよく読んで、条件違反することなく答案用紙に記入できたかが、問われる試験であつたと思われます。

2025年度2級建築士設計製図試験 当学院 合格実績

合格者数

# 1,863名

合格者 40.1%

---

2025年度 設計製図試験 合格実績

当学院受講生 合格者数

# 1,938名

合格実績 詳細 →

2025年度も多くの合格者を輩出！製図なら日建学院！

2025年度(令和7年度)1級建築士 合格実績

2025年度も多くの合格者を輩出！

# 1,938名

日建学院 合格者数

2025年度(令和7年度)1級建築士 合格者数3,988名

札幌校



〒000-0002 北海道札幌市中央区北2条東4-1-2 クラフトアパレル3階4F

☎ 011-251-6010  
FAX 011-251-6016

JR札幌駅から徒歩12分・地下鉄15分（センター南駅4分）

旭川校



〒070-0031 北海道旭川市一寒10-103-85 AJビル5F

☎ 0166-22-0201  
FAX 0166-24-5521

旭川駅より徒歩約5分

苫小牧校



〒000-0002 北海道苫小牧市長町2-1-14 王子不動産ビル4F

☎ 011-251-6010  
FAX 011-251-6016

苫小牧駅から徒歩10分

あなたの「夢」応援します。

# 日建学院

ビジュアル映像講義 体験版

<http://www.ksknet.co.jp/nikken/>

日建学院

検索



情報委員会 立花智亜喜（網走支部）

入稿現在2026年1月5日、この会誌2月号が発行される頃にはオホーツク海に流水が接岸し、海も山も街も真っ白な景色に包まれる頃でしょうか。

そんなオホーツクの厳しい寒さの中、いま網走では歴史・産業・環境の三つの分野で、熱い動きが加速しているのです、ここにご紹介します。

### 「網走監獄」への熱視線

#### ～有名漫画の実写が描く歴史の舞台～

網走の冬をさらに熱くするのが、3月に公開を控えた映画『ゴールデンカムイ』の続編「網走監獄襲撃編」です。

明治期に造られた重厚な放射状平屋舎房などの建築美は、単なる歴史遺産ではなく、この地の厳しい風土と共生してきた証であると感じます。

実写という広大なスケールで描かれることで、私たち建築士にとっても、地域の建築的価値を再発見する貴重な機会となるのではないのでしょうか。

原作に忠実な再現度は、私が特にこの映画を気に入っている点でもあります。（脱獄王・白石のキャラが私のツボ）



ゴールデンカムイの聖地・網走刑務所と網走監獄

### 「網走蔵（仮称）」天都山に響く槌音

#### ～約50年ぶりの地酒復活へ～

網走観光の名所「オホーツク流水館」に隣接する天都山山頂付近では、新しい歴史が刻まれようとしています。

網走市・大空町の連携協定のもとに酒蔵の建設が決定し、2025年12月3日に誘致企業の上川大雪酒造

による「網走蔵（仮称）」の地鎮祭が執り行われました。今夏の酒蔵完成、秋には約50年ぶりとなる網走の地酒誕生を目指して工事が進んでいます。

この酒蔵が、地域の新たなシンボルとして、どのように景観に溶け込み、文化を醸成していくのか、稼働開始がとても待ち遠しいところです。



オホーツク流水館展望台の目の前に酒蔵建設中  
（画像：（一社）網走市観光協会より）

### 「のごみちゃん」と仲間たち

#### ～ごみ拾いSNS「ピリカ」で繋がる街～

素晴らしい景観と美味しい酒。これらを支えるのは、網走のクリーンな環境です。

網走市が推進するごみ拾いSNS「ピリカ」を活用した活動は、今や市民の日常に浸透しつつあります。

この取り組みを彩るのが、オリジナルキャラクターの「のごみちゃん」をはじめ「まめ」「パトくん」「ロールくん」といった個性豊かな仲間たちです。

アプリを通じて清掃活動を投稿し、ユーザーと「ありがとう」を送り合う。個性豊かてかわいいキャラクターたちが、子どもたちへも意識を涵養していく。（網走に1台しかない、のごみちゃんラッピングごみ収集車は、ラッキーパッカー車）

こうした草の根の活動が、歴史を守り、新しい産業を育む土台となっています。



「あばしり “のごみ” プロジェクト」パンフレット

歴史ある監獄の風景から、建設中の最新の酒蔵、そしてアプリを通じた市民活動まで・・・網走の「今」は、過去から未来へと強く繋がっていきます。

※掲載画像はフリー素材又は許諾済みです

## 上富良野支部 無理せず、身の丈に合った活動を

事務局長  
高松 徹



十勝岳連峰を間近に望み、雄大な自然に抱かれた上富良野町。この風光明媚な地で、当支部は地域に根差した活動を続けています。

現在、正会員25名、賛助会員12社という体制で、他地域と同様に会員数の減少や高齢化から、活動に携わる会員も限られてきていますが、そのような状況でも青年層が中心となり、「無理せず、身の丈に合った」形を模索し、少ない人数を感じさせない熱意をもって日々活動に取り組んでいます。

長く続けてきている活動として、観光道路への「植栽事業」があります。初夏、会員が汗を流して植えたマリーゴールド等、鮮やかな色の花々は、観光に訪れる方々や町民を温かく迎え入れる風景の一部となっています。

また、冬期間の街に彩りを添え

るのが「イルミネーション事業」です。夏場、多くの町民が家族や仲間と焼肉を楽しみ盛り上がる大型テント会場も、冬場は静まり返り寂しい雰囲気になりがちです。そこにイルミネーションを設置することで賑やかな光を灯し、地域に明るい話題を提供しています。

一方、これまで「建築士」をアピールする最大の機会として継続してきた「建築士の日ビールパーティ」は、会員減少の影響により、去年は断腸の思いで中止という決断をしました。長年支えていただいた皆様には大変心苦しい限りでしたが、本年はその想いを引継ぎ、新たな試みに挑戦します。それは地域の子ども会が主催する体験型イベントへの参加です。たくさんの子どもたちに「間取り作成」を体験してもらうワークショップを通じ、家づくりの楽しさや建築士という職業の魅力を伝えていきます。

酒席での交流から、次代を担う子どもたちへの教育的支援へと伝

える形は変わりますが、地域と深く繋がってほしいという会員の信念は、これからも変わることなく持ち続けていきたいと思えます。

最後に食の魅力をご紹介します。香りや苦みの原料となるホップ栽培が行われるなど、ビールと深い関わりを持つ本町のソウルフードといえば、ビールとの相性が抜群な「豚サガリ」ですが、昨年、新たにポテトチップス「MARUGOTO KAMIFURANO 黄金の一枚」が仲間入りしました。贅沢厚切り、濃い目の味付けが特徴の町内限定販売の商品です。



上富良野限定！  
「黄金の一枚」

本町を訪れた際は、是非ご賞味ください。

支部HPはコチラ

<http://kmfkenchiku.blog.fc2.com/>

## 日高支部 引き継がれているもの

池 均



早いもので、建築士会に入って今年で34年目と人生の半分以上の会員歴に突入した自分ですが、そのほとんどが善良？な幽霊会員（会費を納めるだけの人）として過ごしていたことから、その中から数少ない出来事を、お話させていただきたいと考えております。

平成5年の32才の年に入会し事業への参加といえば日高管内での交流会（ソフトボール大会・パークゴルフ大会等）の参加者集め等を行いつつ、町内で行う建築士普及活動（住宅相談会等、但し相談はほぼ無し）を行っていました。

通常総会には参加したりしなかったりというような状況でした。

管内交流会の一つであるソフトボール大会は会員の高齢化にともないパークゴルフ大会に変貌し、令和7年からは、様似町のアポイ

ジオパークにてアポイ岳登山が行われています。（登山については、他の地区からの参加もおまちしております。）

会員数かというと他の地方と同様ご多分にもれず、日高管内は、最盛時の約3分の2まで減少しており悩みの種となっております。

そのなかで、積極的な活動をおこなっているのが青年部となっております。

平成10年頃には、山下前支部長が青年委員長だったときに旧静内町にて全道の青年の集いが行われ、馬産地である日高地方をPRするために蹄鉄を利用した名札が作製されており、そのアイデアには、感心した記憶があります。

入会当初、建築士普及活動は、相談会から建築士の日PRポスターを貼るのみというような低調な状況から、平成

20年頃から新冠町で行われていた「ちびっこ建築士絵画コンクール」を日高地方全体で行われ、小学生の子供達の「私の住みたい家」の絵画の展示等が行われるようになりました。

平成24年からは青年の活動の場として絵画コンクールが引き継がれてゆき、平成30年からは、子供達が簡単に楽しめる札幌の支部でつくられたパズルに切り替わりました。

現在は、令和元年からは様似町の子供達の事業「遊びの広場」のなかで行われており、そのエネルギーな彼らの活動には、頭が下がる思いである。



様似町での活動風景写真

## 道士会の動き

### 本部の主な会議報告（1月）

#### ◆第1回青年委員会

〈開催日〉10日(土)

- 1) 令和7年事業報告・決算報告、令和8年事業計画・予算
- 2) 全道青年委員会連絡会議 他

### 関係機関等会議出席予定（2月）

20日(金) 令和7年度建築士会全国職員会議  
上記 伊藤事務局長 他

## 講習会・セミナーのご案内（2月）

### 第57回建築基準法講習会

4日(水) 留萌市・新ひだか町	18日(水) 江差町・室蘭市
5日(木) 名寄市・網走市	19日(木) 札幌市
6日(金) 苫小牧市・滝川市	25日(水) 旭川市
13日(金) 中標津町・岩見沢市・北見市	26日(木) 稚内市
17日(火) 倶知安町・北斗市	27日(金) 釧路市

### 監理技術者講習

25日(水) 札幌市 26日(木) 函館市・旭川市

### 応急危険度判定士認定講習会（新規）

4日(水) 札幌市

### 建築士定期講習（対面方式）

20日(金) 北見市

## 令和7年「設計製図」合格者（北海道）

	実受験者	合格者	合格率
一級建築士	240名	74名	30.8%

※令和6年度：実受験者243名合格者31名（12.8%）

## CPD認定プログラム(1月認定)

#### ◆令和7年度北方型住宅技術講習会

〈日程及び会場〉2月4日(水) 13:30~16:00  
TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前

〈単位数〉3単位

〈問合せ先〉一般財団法人北海道建築指導センター TEL 011-241-1893

#### ◆令和7年度現場代理人合同研修会

〈日程及び会場〉2月18日(水) 10:00~16:00  
オンライン 他

〈単位数〉5単位

〈問合せ先〉一般社団法人札幌建設業協会 TEL 011-261-6182

#### ◆北海道の建築技術向上のための講習会

〈日程及び会場〉2月24日(火) 10:00~15:00  
札幌国際ビル

〈単位数〉4単位

〈問合せ先〉一般社団法人北海道建設業協会 TEL 011-261-6185

## “会員専用ページ”でオンデマンド配信中！



■視聴方法：北海道建築士会HPの上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

■2月パスワード：Enw064

過去に行ったセミナー動画等掲載しています

## 令和7年度 北海道社会貢献賞（防災功労者）札幌支部が受賞

北海道の防災対策の推進に関し功績が認められ「北海道社会貢献賞」を札幌支部が受賞いたしました。

札幌支部では、建築士の専門知見を生かした実践的防災知識を住民に対し教育・啓蒙を行うなど、北海道の防災教育の普及・啓発に貢献、積極的な活動を行ってきました。

授賞式：令和7年12月19日

北海道庁本庁舎3階 知事会議室



濱坂副知事より牛田副支部長へ授与



受賞式出席者

## 編集後記

2期目になります日高支部の津山と申します。宜しくお願い致します。2月号は新年の活動方針がメインとなっております。各委員会の皆様宜しくお願い致します。何か会報に乗せたい情報があればすぐに掲載しますので、情報委員会までお願い致します。

話は変わって、正月は息子のいる鹿児島に行ってきました。仙巖園から見える桜島に今年一年の力を貰えた気がしました。会員皆様が、充実した一年になりますように！！

情報委員会 津山 浩（日高支部）

情報委員会委員長／前田 繁  
副委員長／村山 賢司・立花智亜喜  
委員／奈良岡 修・山川 力  
津山 浩・椛川 正人

## 北海道建築士 No.342号

発行 令和8年2月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
大五ビル

電話 (011)251-6076番

URL <https://www.h-ab.com/>